

## 平成6年度 研究発表会を終えて

当技術研究所では、平成5年度の1年間に実施した研究結果を、自転車業界はもとより、関係する業界、その他関連団体等へ報告するために、研究発表会を6月22日東京会場(日本自転車会館9階)、6月23日大阪会場(自転車産業振興協会技術研究所大阪支所)に於いて実施した。

参加者は、東京会場が76名、大阪会場が46名と多数の聴講者があった。

写真1は、東京会場での質疑応答状況、写真2は、大阪会場の研究発表状況である。

聴講者には、アンケート用紙で、ご意見をお聞きしましたところ、多数の方々から回答をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

ご希望を抜粋して掲載させていただきますが、紙面の都合で、ご意見、ご希望を掲載できない方もありますが、ご了承下さい。

### 1. 希望する研究内容

#### 東京会場

- 1) 車いす(主に電動)の各社比較、強度試験(外国車も含む)。
- 2) MTX, MTB車競技の競輪化の研究。  
選手の育成、産業の振興、競技の普及等競輪場でのダートコースのレースがあれば、変化にとんで面白い(軽快車の競輪も見る側からすれば面白い)と思う。
- 3) クロモリTi g溶接条件によるS-N曲線。
- 4) 完成車が高速(30~40km/h)で衝突した時の状態の調査。特に材質別(Fe, Al, CF)。
- 5) 障害者スポーツに使用する自転車W/Cについて。
- 6) 新素材と自転車、車いす。
- 7) どんな自転車にも取り付けることのできる(主にスポーツ車)、実走状態で測定できる仕事量測定器を用いた、各種スポーツ自転車用機材の特性評価。
- 8) 新素材フレーム及び部品の評価。



写真1 東京会場

走行フィーリングの定量化(剛性、固有振動数等との関係)。

- 9) 金属製以外の部品(コンポジット他)が、今後も多く開発されていくと予想され、その安全基準の考え方、方向付けについて、研究をお願いしたい。

#### 大阪会場

- 1) PL問題。
- 2) 耐磨耗性塗装。
- 3) 異型フレームにおける強度と空力特性。
- 4) 軽量化材料。
- 5) 新素材応用・評価方法。
- 6) Li-Al合金の可能性について。Mg合金の可能性について。
- 7) BIKE・部品・材料のリサイクル問題。
- 8) PL関係。取扱説明書に記入必要事項。
- 9) 自転車の安全対策(自転車自身の持つ強度・加減速・腐食等と、対外的なもの、駐輪場、交通法を含め、総合的な研究)。
- 10) MTBにおけるブレーキの制動性能、特に前輪及び急制動時における安全性。
- 11) 自転車の強度・振動特性・サスペンション特性。

### 2. 希望する講演内容

- 1) PL法案について 3件
- 2) 地球環境・健康と自転車のかかわり。
- 3) アジア諸国と国内メーカの技術比較。
- 4) 台座の溶接強度と耐久性。

皆様からいただきましたご意見、ご希望を参考に、今後の研究に役立たせていただきたいと思います。

なお、資料をご希望された方で、住所、氏名がアンケートに記入されなかった方は、直接担当者に申し出下さい。

ただし、資料によっては、実費、送料等が必要な場合もありますから、ご承知おき下さい。



写真2 大阪会場